

施策	5202 生涯学習機会の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	生涯学習メニューの充実、地域の多彩な人材の講師としての活用、地域ぐるみの教育を推進する組織の構築等を図ります。							
成果指標	市民大学事業延出席者数...平成29年度で1,200人(現状値904人) 生涯学習人材バンク登録者の活動件数...平成29年度で100件(現状値66件) 学級・講座等の受講者数...平成29年度で28,000人(現状値25,406人) 人権教育指導者養成講座受講者数...平成29年度で100人(現状値40人)							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	658.00	900.00	1,000.00	1,100.00	1,200.00	
		実績	658.00	905.00	688.00	1,402.00	1,551.00	
	成果指標2 [件]	予定	55.00	70.00	80.00	90.00	100.00	
		実績	55.00	91.00	80.00	105.00	114.00	
		単位コスト	8,158.40	4,949.24	5,877.38	4,483.96	4,031.01	
	成果指標3 [人]	予定	4,590.00	26,500.00	27,000.00	27,500.00	28,000.00	
		実績	22,804.00	27,365.00	37,422.00	33,394.00	33,749.00	
		単位コスト	19.68	16.46	12.56	14.10	13.62	
	成果指標4 [人]	予定	30.00	45.00	60.00	75.00	100.00	
		実績	30.00	115.00	71.00	309.00	271.00	
		単位コスト	14,957.07	3,916.36	6,622.39	1,523.68	1,695.70	
トータルコスト (千円)	予定	458,526	453,949	447,358	427,310	465,628		
	実績	448,712	450,381	470,190	470,816	459,535		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「各種学級・講座受講者満足度」を向上させるためには、受講者の増加や講座の改善等が必要であるため、本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	4つの成果指標全てで目標値を上回ることが出来た。市民大学の広報を全戸配布に変更した効果が続く中で、関連講座も受講できるよう連携したため、延べ出席者数が増加した。						
	課題	市民大学は、受講年齢層が高齢化しており、幅広い世代が興味を持てる生涯学習メニューの充実と、講座受講者の活用の機会を充実が必要である。						
	取組方針	幅広い世代の受講を推進するため、人材バンク自主講座や出前講座の活用により生涯学習メニューの充実を図る。また、学習の成果を生かし活躍する場の検討を行う。						
外 部 評 価	計画期間を通じて各指標とも目標を達成し評価できるが、目標を実績が大きく上回っていることから、目標値の妥当性を検討する必要があると思われる。各種生涯学習講座では、受講者の年齢が高齢化する傾向が見受けられ、幅広い年齢の市民が参加できるような講座の開設などの工夫や、施策目標の成果として、受講者の活躍の場を設ける工夫も必要であると思われる。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	538101	青少年健全育成補助事業費				4,061	100	
	538204	青少年育成センター運営費(都賀)				411	100	
	538205	青少年育成センター運営費(西方)				798	100	
	538601	青少年健全育成団体支援事業費				4,725	100	
	560101	私学振興費補助金				9,500	100	
	560401	生涯学習情報提供事業費				1,500	100	
	560501	栃木市生涯学習人材バンク事業費				1,500	100	
	560701	市職員出前講座開催事業費				750	100	
	560801	人権同和教育事業費				15,269	100	
	561701	栃木市民大学事業費				7,861	100	



# 平成29年度 単位・基本 施策評価表 補表

施策	5202 生涯学習機会の充実		
区分	妥当性	妥当	地域の多彩な人材を講師として活用することにより基本施策の実現につながるため、妥当である
	コスト削減の余地	無	講師謝金や受講料が主な支出であるが、教育委員会の規定に基づくため、コスト削減は難しい。
	受益者負担	適正	市民大学や各種講座において(材料費等の)受講料を徴していることから適正である。
	上位貢献度	有効	個々の事務事業の推進による貢献度が高いことから、単位施策貢献度が高いと判断した。
	類似事業の有無	無	
	成果向上の余地	有	全ての成果指標が目標値を上回ったため、今後も成果を向上させる余地はあると判断した。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位施策の目標指標「各種学級・講座受講者満足度」を向上させるためには、学級・講座等受講者数の増加や講座の改善等のための個々の事務事業の推進は貢献度が高いと判断した。	
	達成状況	<p>4つの成果指標全てで目標値を上回ることが出来た。28年度から市民大学の広報チラシを班内回覧から全戸配布に変更した効果が続いており、受講者数が増え、関係機関が主催した講座も受講できるよう、連携も図ったため、延べ出席者数が増加した。</p> <p>連携講座の一例を挙げると、公民館課主催の地域の魅力発見講座「栃木の街道と宿場」「出流山万願寺参拝と柚餅子作り体験会」等や、岩舟地域予算提案事業 特別講演会「下野国の生んだ世界的偉人”円仁”」等の開催により機会の充実を図った。</p> <p>また、外部評価でご指摘をいただいている、各種講座の受講者の活躍の場については、学んだ成果を地域や社会のために役立てる機会を提供するため、生涯学習人材バンクへの登録による、市民講師としてのボランティア活動の場の提供に努めた。</p>	
	課題	市民大学は、成果があがると共に年齢層も高齢化している。幅広い世代が興味を持てる学習メニューのさらなる充実と、受講者の学習成果の活用先についての情報提供や活用の機会を充実させる必要がある。	
	取組方針	幅広い世代の受講を推進するため、人材バンク自主講座や出前講座の活用により、関係課の連携講座等を組合せることで生涯学習メニューの充実を図る。また、学習の成果の生かし活躍する場を検討していく。	
内部評価	貢献度	当該施策の推進は、受講生の増加と内容の改善によって、基本施策が目指す姿「各種学級・講座受講者満足度」の向上への貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	市民大学事業延べ出席者数、生涯学習人材バンク登録者の活動件数、学級・講座等の受講者数、人権教育指導者養成講座受講者数、全てにおいて、前期5年分の目標に達している。	

【前期5年分】

課題	多様化かつ高度化する市民の少子化、情報化、国際化、環境問題などの学習ニーズを把握して、学習を通じて得た知識・知能・経験などを市民や子どもたちに還元する機会の充実が必要となっている。
取組方針	市民ニーズや社会の要請を的確に捉えた様々なテーマの学級・講座など、学校・家庭・地域が連携・協働しながら学習機会の提供を行う。 また、市民一人ひとりが多様な個性・能力を活かした新たな価値を生み出せる生涯学習社会の構築を図る。